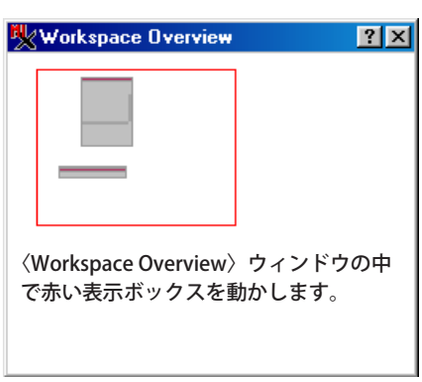
仮想デスクトップ

ご存知でしたか？... X サーバーの広いワークスペースを使って、大きな表示ウィンドウを作ったり使うことができます。

仮想デスクトップによって...

- 広いワークスペースを使用することで生産性が向上します。
- ワークスペース全体にわたって表示ウィンドウを大きく拡大できます。
- 表示ウィンドウのサイズを変更して、表示ウィンドウ中の地理データを選択した地図スケールで全体表示できます。
- [ワークスペースオーバービュー (Workspace Overview)] のツールを使って、ワークスペースの中で全てのウィンドウを動かすことができます。

ワークスペースを大きく設定する方法



〈Workspace Overview〉ウィンドウの中で赤い表示ボックスを動かします。

- X デスクトップモードで起動し、タイトルバーを右クリックしてメニューから [詳細設定 (Preferences)] を選択します（または、システムトレイの [Microimages X Server] アイコンをクリックして [Preferences] を選択します)。
- 〈Microimages X Server Preferences〉ダイアログで [Workspace Size(ワークスペースサイズ)] を選択します (この変更は次のセッションから反映されます)。
- 〈Microimages X Server Preferences〉で、[ワークスペースオーバービューウィンドウを表示する (Show workspace overview window)] をオンにします。〈Workspace Overview〉ウインドウを使って、ワークスペース内で動かします。
- 表示ウィンドウの [オプション (Options)] メニューから [サイズ変更 (Resize to)] を選択して表示ウィンドウのサイズを変えます。RAM が 128MB 以上ある場合、[2 倍の高さと幅 (Double Height and Width)] を試してみて下さい (〈Microimages X Server Preferences〉ウィンドウで、[Workspace Size] を [Double Height and Width] にします)。

さらに知りたいことがあれば...

マイクロイメージのウェブサイトをご覧下さい

(翻訳) 株式会社 オープン GIS
東京都墨田区吾妻橋 1-19-14
紀伊国屋ビル 1F
Tel: (03)3623-2851
Fax: (03)3623-3025
E-mail: info@opengis.co.jp